学生の皆さんへ　脳神経内科実習

当科の実習の方針

①患者さんから本気で学ぶ
・OSCE の神経学的所見の 1 歩先をいく所見のとり方をマスターする
・本物の問診、医療面接をマスターする
・患者さんの不安や、生活していく上に必要なことは何か、想像する力を習得する
・神経内科外来診療を経験する
②プレゼンテーションの仕方を学ぶ
・わかりやすく他人に自分の考えを伝え，納得させるスキルを学ぶ
・世界標準の PubMed の検索法（MeSH)，カルテの記載方法（POMR）をマスターする
③英語論文の検索方法と読み方を学ぶ
・どうしたら医学英語を読めるようになるか徹底指導する

目標

①医療面接、一般身体的所見、神経学的所見を適切にとることができる
②解剖学的診断、鑑別診断を自分で考えることができる
③MeSH を用いてエビデンスを検索し，文献をさがすことができる
④診療に関する記事を記載し、指導医に報告し、同僚にプレゼンができる
⑤英語論文の読み方をえる
⑥自らの体調管理、スケジュール管理を実行することができる
⑦社会人、医療人としてのマナー(見だしなみ、挨拶、個人情報管理等)を実践することができる

@個人情報の取り扱いに注意する
・当科入院患者以外のカルテは開かない。電子カルテアクセスは記録(端末・時間・操作者)に残る
・プリントに掲載された個人情報の外部漏洩に注意すること。引越・卒業時にはきちんと処分する

実習の全体像：

１）月～金曜　朝８時半～　カンファレンスに参加（2025 年４月時点　オンライン開催）
　　木曜　朝９時～　全体カンファレンス、抄読会
２）学生１人で１人の入院患者さんを担当する。
３） 実習前に「神経診察チェックポイント」に目を通す.
　　病棟患者さんの診察は、患者さんに了承を得た上で積極的に行う。
　　所見が主治医と異なるところはよく確認する。
　　担当患者の各種画像記録（MRI 等）や検査所見を電子カルテでしっかり把握する。
　　担当症例の検討ができるよう各自がまとめておく 。
４）担当患者の CQ について文献を調べてパワーポイントのスライドにまとめる。
　　CQ 発表は２週目の木曜日（または金曜日）に行う。
　　症例のまとめも作成して、当科実習最終日までに提出する。
５）「メディシンって何だろう」という本を読み、読書感想のレポートを提出する。
６）２週間の実習の感想や建設的意見をレポートにして提出する。
　※提出物：スライド（症例まとめ・CQ、読書感想文、実習の感想・建設的意見）

レポート・図書は、第２週金曜日にまとめて提出する（7N21）
　　※図書返却時に名簿にチェックする
日程表を確認して、カンファレンスやレクチャーなどの時間に遅れない。
遅刻・欠席の際はグループのメンバーを通じで連絡すること。
動画視聴のレクチャーは各自で視聴してください。

5 年生神経診察チェックポイント

3, 4 年生で学んだ OSCE 神経診察のまとめです。一通り読んで復習すると、神経内科実習をスムーズに開始できます。

実習の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	朝カンファ オリエンテーション 外来見学 レクチャー	朝カンファ 外来見学 レクチャー	朝カンファ 外来見学 レクチャー	全体カンファ CQ 確認（1週目）、発表（2週目）	朝カンファ 外来見学
午後	レクチャー	レクチャー	レクチャー	多職種カンファレンス 病棟回診	

※補足・注意事項等

月、火、水、金曜の朝カンファレンスは 8 時 30 分開始

木曜の全体カンファレンスは 9 時開始

カンファレンスはオンラインです（2025 年 4 月時点　zoom の URL を確認）

実習期間中に外来見学を各自 1 回行う（木曜は休診日）

11 時の初診外来を見学（曜日は問いません 1 名ずつ）

レクチャーは週によって時間が異なるので実習時に要確認

2025 年 4 月　改訂